

解答

一

- 問一 わたり鳥
問二 (1) 太陽の位置ゝていること
(2) 体内時計
問三 A 4 B 3 C 2
問四 この鳥は晴
問五 地球の自転にともない太陽の位置が変化するから。
問六 鳥たちが体内時計を使って太陽の位置を正確に知り、太陽コンパスを補正すること（を調べるための実験。）
問七 ある決まった方角からのみ餌が出ること。
問八 (1) →
(2) D 1 E 2 F 1
問九 a 計器 b 解明 c 慣〔らす〕 d 景色 e 戸外

二

- 問一 a 熟成 b 無性 c 忠告 d 平〔らげる〕
問二 A ウ B エ C カ D ア E オ
問三 七生と私のギクシャクした関係が元どおりになること。
問四 (1) 夜中にこっそりケーキを食べようとしている（と思った。）
(2) 腐ったバースデーケーキをそつと捨てよう（としていた。）
問五 「だって、ななちゃんこういうの嫌いでしょ」
問六 涙が出そうになった（ということ。）
問七 私の前ではおいしいと言っていた
問八 ア
問九 ウ
問十 イ

解説

一

- 問一 ――の前に着目すると「これらの鳥たち」とは、ヒタキの類や、ツル、カモの類などの「わたり鳥」を指していることがわかります。
問七 ――6を含む段落にある「彼はクレマーと」ではじまる一文に学習の内容が書き表されているので、設問の指示に従って「ある決まった方角からのみ餌が出ること。」という内容をまとめます。

二

- 問三 ――①の前後から、七生と私がギクシャクし、三日経っても、七日経っても、どうにもならず、時間が経つても元どおりにならなかったことがわかるので、これらの内容から説明します。
問十 おなかを壊すかもしれないのに腐ったケーキを食べる「私」の姿からは、七生の気持ちを大事にする様子が伝わってきます。七生は「私」が自分の気持ちを受け入れてくれたことをうれしく思い、泣いていることがわかるので、選択肢イが選べます。